

編集委員が  
インタビュー!

表紙：働く人シリーズに寄せて

## おもちゃ作りの現場で伺いました

Q 木のおもちゃ工房を始めたきっかけは？

A おもちゃのデザインの仕事をしていたのですが、子どもたちとの距離が遠く、もっと身近で仕事がしたいという思いがありました。そんな折、自分で作って自分で売る「木のおもちゃの展示会」を見て、思い立ちました。

Q 木材や塗料へのこだわりはありますか？

A プナやウォールナットなどで、重すぎず軽すぎず、堅すぎず柔らかすぎず、自然の色合いを感じるものを選んでいきます。塗料は、自然の植物油をベースにした、なめても安全な無公害塗料を使用しています。

Q 木のおもちゃ作りにかかる思いは？

A 木が生きていることを大切にしています。日本の伝統技術や文化をおもちゃの中に取り入れ、木ならではのおもしろさを伝えていき、「誰かと誰かをつなぐ」ことができればと思っています。

ご協力いただいた木のおもちゃ工房  
左から、製作担当：香田 進さん デザイナー：香田 佳子さん

Q うれしいと思う瞬間はどのようなときですか？

A 展示会をしているときに、子どもたちが喜んで遊んでいる姿を見るとうれしくなります。

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。  
市議会の議事録も見られます。<http://www.city.fujimino.saitama.jp/assembly/>

6月定例会の傍聴者は116人でした。

傍聴をお待ちしています

次の定例会の  
開 会 予 定：9月1日 午前 9:30～

請願締め切り予定：8月22日 午前 10:00

## 議会広報常任委員会

委員長	田村 法子	副委員長	小林 憲人
委員	島田 典朗	委員	鈴木啓太郎
委員	仙田 定	委員	伊藤 初美
委員	五十嵐正明		

表紙の題字を書いてくれた人  
大井中3年 仲 広海さん

ふじみ野



横書きで書くのは初めてだったので、文字の大きさやバランスが難しかったです。いい経験になりました。

## 編集後記

1192年「いい国」とされていた鎌倉幕府の成立が1185年「いい箱」かどうか検証されたい。▶いい国を作るには箱ものが大事ということか？公共施設の適正配置計画にも通じまいか。全国には1万2251件の取り壊さなければならない公共施設があるという。取り壊すには約4000億円かかる。▶今議会、エコパの開設にあたっての緊急質問が行われた。緊急質問は、議員12年目にして初めての経験であった。また、「自治基本条例」が4人退席のもと、起立総員で可決となった。▶条文で『市民の責務』をうたっているが、義務ではない。市民が「要望団体」や「請願団体」となるだけでなく、「政策市民」となることを期待したい。それが健全財政にもつながり、持続可能な市となる近道に違いない。  
(田村法子)

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されております。ご理解をお願いします。